

2022 年 5 月 27 日 – HSX: CTR

業界: 通信情報-通信業

推奨

買い

ベテル建設株式会社 (HSX: CTR)

現値:	82,400	レポート作成日:	27/05/2022	株主構成	
前理論価格		流行中株数(100 万)	92	Viettel グループ	50.7%
新理論価格:	94,500	時価総額(10 億ドン)	8,214		
配当率		過去 10 日間平均売買高	978,880		
上昇率	16%	外国人投資家保有率	6.19%		

業界分析者:

Nguyễn Thị Cẩm Tú, CFA
(テクニク、水産、繊維・アパレル)
tuntc@bsc.com.vn

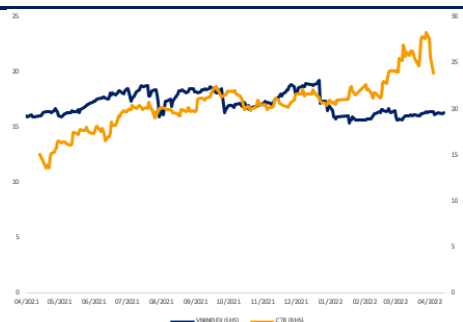
テクニク分析者:

Phạm Thanh Thảo
thaopt@bsc.com.vn
推奨価格: VND
損切値: VND

株価の推移



P/E



評価

- BSC は PE 方法及び FCFF 方法に基づく、CTR 株の理論株価を 2022 年 5 月 27 日の終値比 16%増の 9 万 4,500VND/株と評価し、CTR の投資評価を「買い」と推奨しております。

2022 年業績予測

- BSC は 2022 年には、CTR の売上高を前日比+15.2%増の 8 兆 5,780 億ドン、税引後利益を同+23.2%増の 4,620 億ドン、EPSfw を 4,875VND/株、PEfw を 15.8x と期待しております。

2022 年業績計画

- CTR は 2022 年事業計画で、売上高を前年比 15%増の 8 兆 5,860VND、税引後利益を同 10%増の 4,140 億ドンに設定している。

2022 年業績見通し

- 通信業界の経営活動グループ:** 通信建設の需要が低い水準で維持することで、工事数が減少する。外国市場から情報通信ネットワーク運用・開拓・事故処理事業が成長する。CTR が無線基地局賃貸数を増やし、線基地局の共用率を向上する時、賃貸インフラ事業 (TowerCo) が順調に成長する。
- 通信業界の以外の経営活動グループ:** 建材価格が上昇すると、土木事業が横に推移すると期待される。システムのインテグレーションソリューション事業はエネルギー案件から恩恵をまだ受けない。

リスク

- 海外での経営活動に関するリスク
- ベトナムで 5G(第 5 世代移動通信システム)の展開進捗に関するリスク
- 建材価格の高騰に関するリスク

企業アップデート

- 2022 年第 1 四半期には、CTR の収入及び税引後利益はそれぞれ、前年同期比+14.3%増の 2 兆 10 億ドン、同+24.7%増の 890 億ドンを達した。売上総利益率が同期の 7.0%から 7.5%に上昇し、一般管理費の比率が同期の 2.0%から 1.9%に低下し、利益が収入より増加した。

	2021	2022F	Peer	VN-Index		2020	2021	2022F	2023F
PE (x)	17.9	18.2	12.8	13.8	収入	6,359	7,446	8,578	9,894
PB (x)	4.7	5.1	2.6	2.1	売上高	474	627	760	926
PS (x)	0.7	0.9	4.9	1.8	税引後利益	274	375	462	571
ROE (%)	31.6%	30.1%	16.7%	15.7%	EPS	3,892	4,038	4,875	6,024
ROA (%)	9.6%	10.5%	5.7%	2.5%	EPS 成長率	31%	4%	21%	24%
					純借入／株主資本	266%	202%	172%	150%

I. 企業概要

ベテル建設株式会社(CTR)は 1995 年に設立し、軍事通信産業グループの生態系に属している。CTR は初期に地盤工事、アンテナ工事を設備した後、国内及び海外で Viettel の 2G 及び 3G インフラを設備した。2017 年には、新しい分野へ拡大した。それは Viettel の情報通信システムを運用し、開拓し、メンテナンスし、事故を処理するということです。

27 年間を経て、CTR は下記の通りに経営戦略を維持している。

+インフレ運用、賃貸などの通信業のサービスを開発し続ける。

+新しい事業を拡大する。それは土木建設、システムのインテグレーションソリューション、サービスコンサルティングなどです。

一般的には、CTR の伝統的な経営分野及び新しい経営分野は通信分野から始める生態系に巡っている。

+ CTR は通信インフラの建設、運用に関する経験のおかげで、無線基地局(BTS)の建設や賃貸に関する利点、知識を得る。

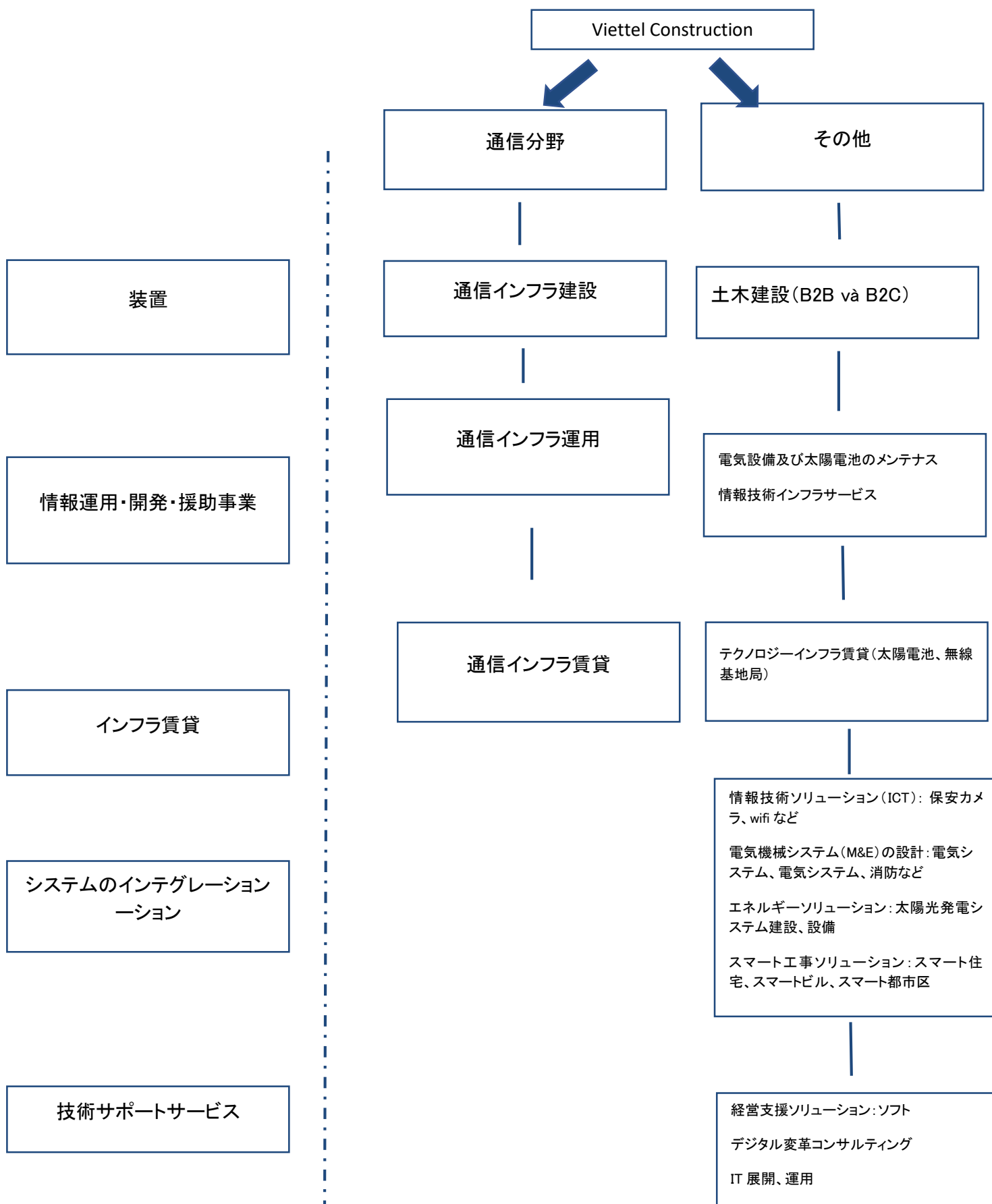
+ CTR は建設経験及びプロの不動産請負主との協力のおかげで、土木建設事業を開発し、エネルギー案件を設備する。

+通信業はテクノロジー業に関連するために、CTR は建設工事にテクノロジーサービスを提供出来る。

+また、CTR は Viettel 生態系に属していることのおかげで、Viettel ブランド及び通信業の経営活動における関係から恩恵を受ける。Viettel は CTR の総株式数の 50.7%を保有し、2021 年収入に 72%を寄付した。

CTR の重要な事業

事業		備考
1. 通信業の経営活動		
通信建設	放送局、光ファイバーケーブルなどの通信・情報技術インフラを設計、建設、設備	北ー南の軍用光ファイバーケーブルの第 1 段階 ハノイでの軍用光ファイバーケーブル地下化の工事
通信インフラ運用	モバイルシステム、伝送路を設置、運用、保守、故障を処理	
賃貸インフラ	通信インフラを投資、賃貸	Viettel グループ、CMCTelecom のインフラ運用 無線基地局賃貸、分散型アンテナシステム (DAS)などを賃貸
2. 他の経営活動		
土木建設事業	電気機械システム (M&E)を設計、構築、再生可能エネルギー	+ Hinode Royal Park 案件の 59 戸のアパート、94 戸の邸宅 + Louis City 案件の 266 戸の邸宅
システムのインテグレーションソリューション	Mạng ICT: camera an ninh, giám sát, ... ICT (Information and Communication Technology) 事業: 保安カメラ、監視カメラなど 電気機械システム (M&E) の設備: 電気システム、エアコンシステム エネルギーソリューション: 太陽光発電システムの建設、設置 スマート工事ソリューション: スマート住宅、スマートビル、スマート都市区	+ +6省での集中隔離区の監察カメラ案件 +ハノイ仮設病院での超低電圧回路案件 +Nam Dinh 林産品 株式会社 の 2,448 枚のパネルの設置案件 +Gia Vien 郡、Ninh Binh 省でスマート放送案件



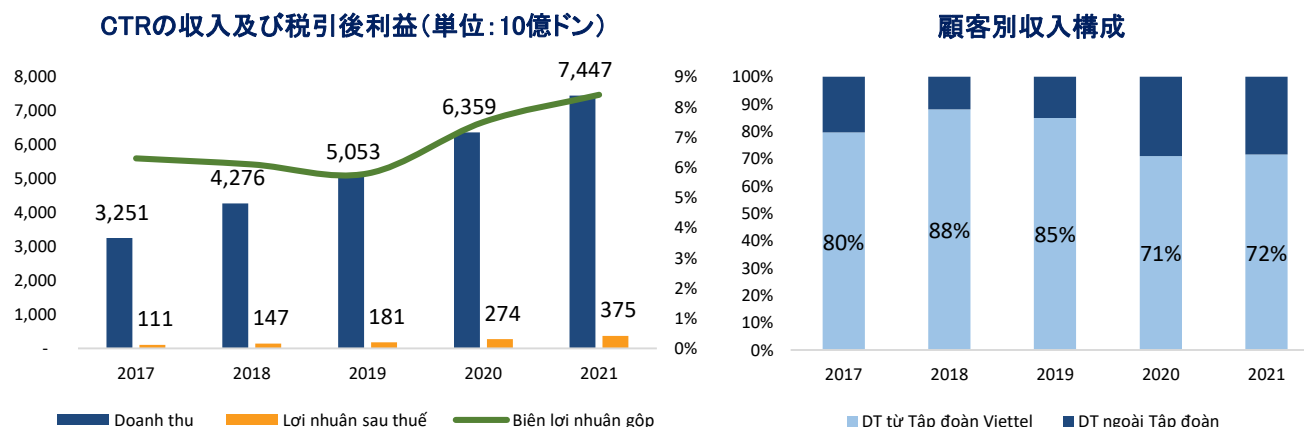
経営活動構成:

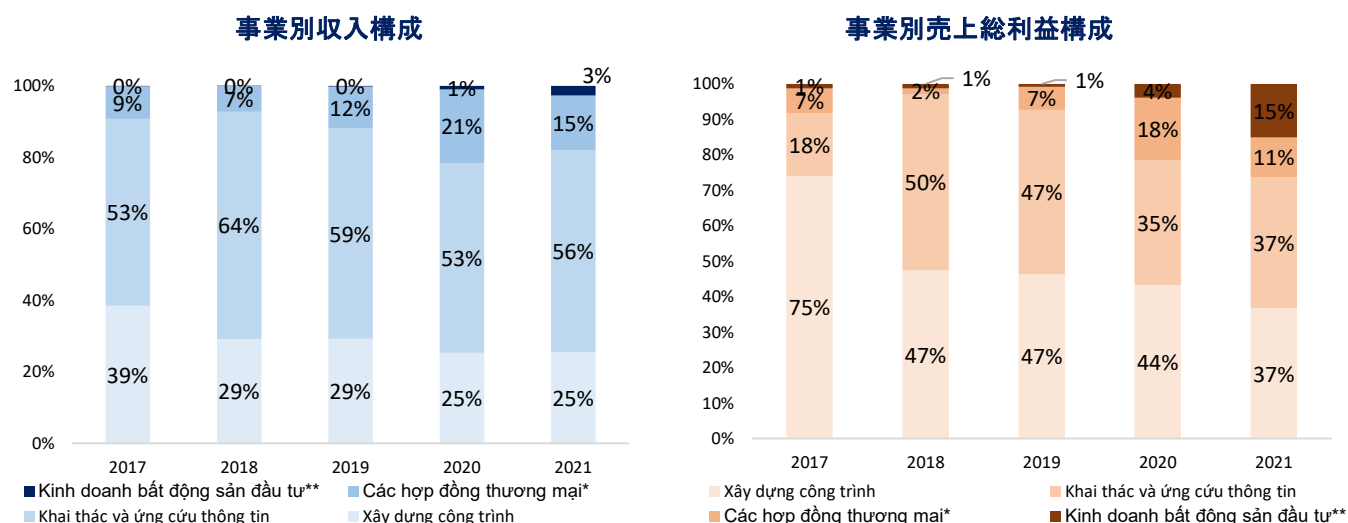
+工事建設事業(通信建設、土木建設):2021 年には、CTR の収入に 25%を寄付し、売上総利益に 37%を寄付した。2017 年から建設事業の割合が段々低下している。そのために、CTR 管理部が土木建設事業に集中している。土木建設事業は B2C(住宅建設案件)及び B2B(投資主の低層建物、邸宅案件)を含む。この事業による収入は建設事業による収入の 43%を占めた。

+情報通信ネットワーク運用・開拓・事故処理事業:この事業は 2021 年には、収入に 56%を寄付し、売上総利益に 37%を寄付した。重要な顧客は Viettel グループである。また、CTR は Viettel のインフラ運用システムをカンボジア及びミャンマーで責任している。

+貿易契約事業(システムのインテグレーションソリューション及びコンサルティングサービスを含む):この事業は 2021 年には、収入に 15%を寄付し、売上総利益に 11%を寄付した。CTR は 2020 年には太陽光発電案件を建設する需要が増加したことから恩恵を受けたことで、2021 年に貿易契約事業の割合が低下した。

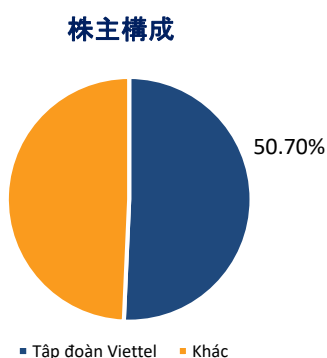
+投資不動産経営事業(BTS、DAS、伝送):2021 年には、収入に 3%を寄付し、売上高売上総利益に 15%を寄付した。投資不動産経営事業の収入が主に BTS 賃貸から由来した。一方、DAS 事業及び伝送事業が遅く成長した。





ソース: CTR

株主構成

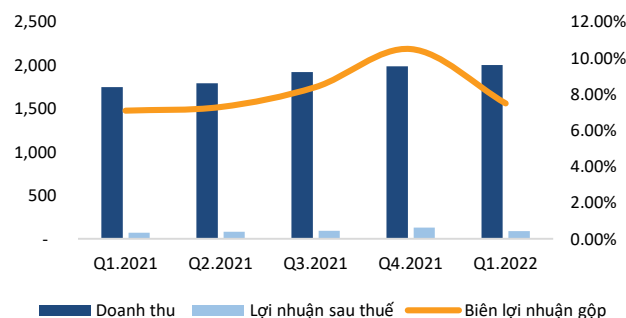


CTR の株主構成には、Viettel グループが CTR 株式の 50.7%を保有し、売却を予定していない。CTR の株主構成が集中的だと評価されている。

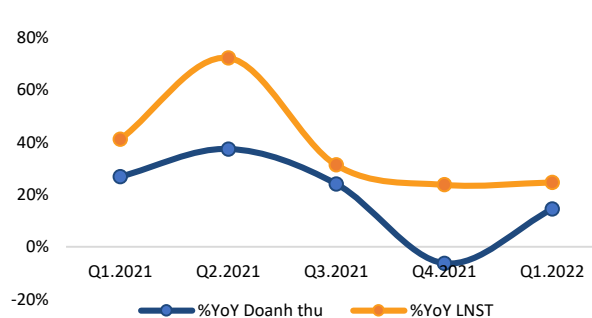
II. 2022 年第 1 四半期業績アップデート

2022 年第 1 四半期には、CTR の収入及び税引後利益はそれぞれ、前年比+14.3%増の 2 兆 10 億ドン、同+24.7%増の 890 億ドンだった。CTR の売上総利益率が同期の 7.0%から 7.5 に上昇し、一般管理費の比率が同期の 2.0%から 1.9%に低下した。これは利益の成長率が収入の成長率より高くなったと示した。

最近の5四半期の業績



収入及び税引後利益の成長率

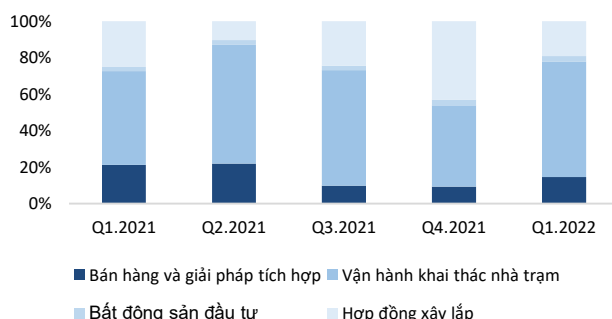


ソース: CTR

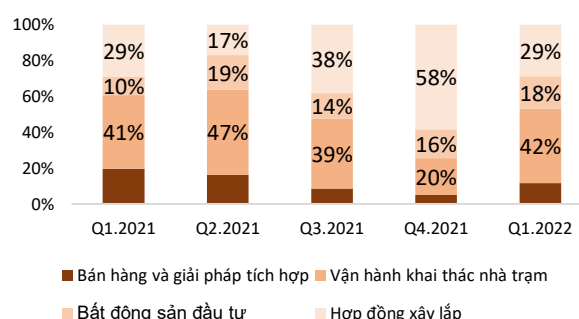
経営活動について、収入は主に情報通信ネットワーク運用・開拓事業（前年同期比+40%増）及び賃貸インフラ事業（同+63%増）から由来した。一方、システムのインテグレーションソリューション事業及び建設事業はそれぞれ、前年同期比-21%減、同-12%減となった。

収入構成について、情報通信ネットワーク運用・開拓の割合が 63%で、同期の 41%から上昇した。売上総利益構成について、賃貸不動産事業の割合が 18%で、同期の 10%から上昇した。

直近の5四半期の収入構成



直近の5四半期の利益構成



ソース: CTR

II. 2022 年業績見通し

A. 通信業の経営活動グループ: 通信建設事業、情報通信ネットワーク運用・開拓・事故処理事業、賃貸インフラ事業(TowerCo)

BSC は通信業の経営活動の見通しが通信サービス供給会社、特に Viettel の投資需要に依存すると考えております。そのうち、次の数年に 5G 通信サービスが重要な要素となるだろう。

2022 年 5 月 27 日 – HSX: CTR

+5G 通信サービス商業化: 2020 年末には、Viettel、Mobifone、VNPT というベトナムで 3 社の最大大手通信サービス供給会社は 5G の実験を 16 省で許可された。計画によると、2022 年に 5G 通信サービスが商業化される見込みです。

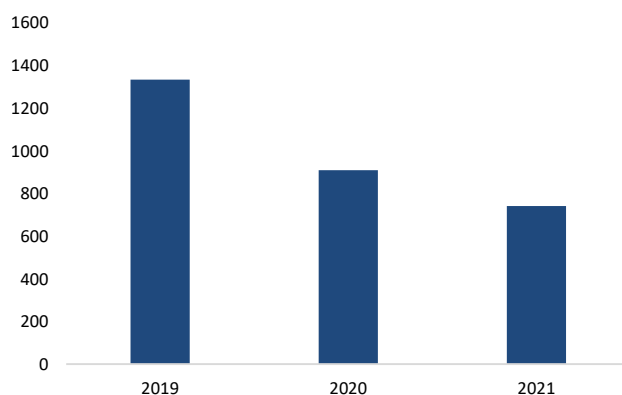
+5G 通信サービスへの投資: 現在、ベトナムでの通信サービス供給会社は 5G への投資額を発表しない。しかし、BSC は 2022 年~2023 年期間に投資需要が高まると考えております。

そのために、BSC は 2022 年末及び 2023 年には、通信サービス供給会社が 5G 通信サービスに対しての費用を増やす際に、CTR の通信建設事業及び情報通信ネットワーク運用・開拓・事故処理事業が恩恵を受けると期待しております。

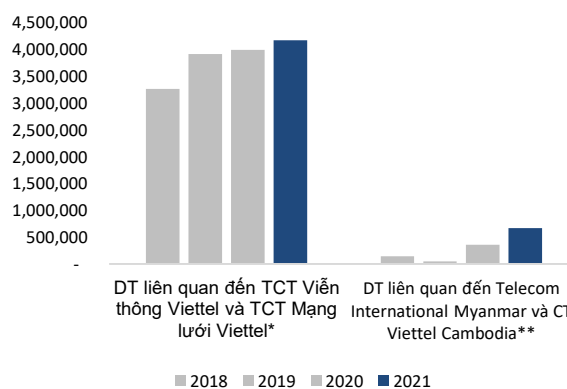
通信建設事業: BSC は 2022 年には、通信建設の需要がまだ急増していないと評価しております。BSC は 2023 年に入ると、通信サービス供給会社が 5G 通信サービスを展開すると、通信建設の需要が改善すると期待している。Viettel は 5G 向けの 5,000 局の BTS を装置する必要がある。

情報通信ネットワーク運用・開拓・事故処理事業: BSC は 2022 年には、5G への投資需要が高まらなくて、以前の通信インフラが安定な状態で維持すると評価しております。情報通信ネットワーク運用・開拓事業が成長率を 5~6%/年(3 年間の平均水準)で引き続き維持する。成長の原動力は CTR がミャンマー及びカンボジアで Viettel の運用仕事量を増やすことから由来する。

Viettelの建設事業による収入



Viettelの子会社に関する収入



ソース: CTR

*建設及び国内情報通信ネットワーク運用・開拓・事故処理事業を含む。

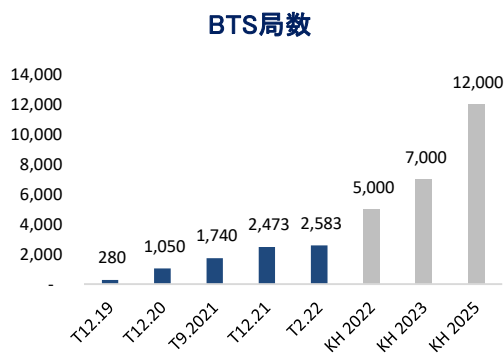
***ミャンマー及びカンボジアで建設及び国内通信インフラ運用・事故処理を含む。そのうち、2021 年には、ミャンマーでの収入が 60%を占めた。

賃貸インフラ事業(TowerCo):2025 年まで戦略では、賃貸インフラ事業(特に BTS 賃貸)は CTR の肝心の経営活動の一つである。CTR はベトナムで一番通信インフラ賃貸会社となる目標を設定している。

BSC は BTS 賃貸活動が次の数日に成長ポテンシャルがまだ大きいと評価しております。

賃貸インフラ事業は(1)新 BTS 数を増やす、(2)インフラを共用する通信サービス供給会社を増やすということのおかげで、成長率が高いと期待されている。

- (1) 新 BTS を増やす。CTR は 2022 年には、2500 局の BTS を建設すると設計した。同時に、2025 年まで、1 万 2,000 局を所有するという長期的な目標に向けている。

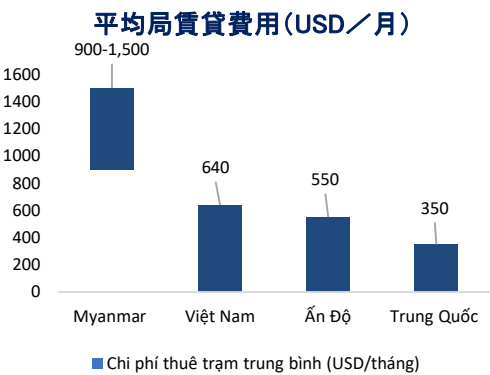


社名	局数	備考
Viettel	2,583	
Construction OCK Group	>2,000	Vietnam Infrastructure Limited (VNI) が OCK Group に SEATH の株式を全部で売却した。そのために、OCK Group が SEATH からの 1972 局を計上した。
GMobile	~2,000	再構成、操業停止シグナルを見せていた。
Golden Tower	350	

*推定データ

ソース: CTR、BSC 総合

- (2) インフラ共用する通信サービス供給会社数を増やす。BSC は 5G を広い範囲で展開されば、通信サービス供給会社がインフラ共用する傾向が強化されると考えております。これは CTR の共用率を引き上げる可能性がある。



	Macro 局	RRU, Small cell 局
割合	30%	70%
月間平均収入 (100 万 VND)	12-15	6-7

ソース: TowerXChange, CTR

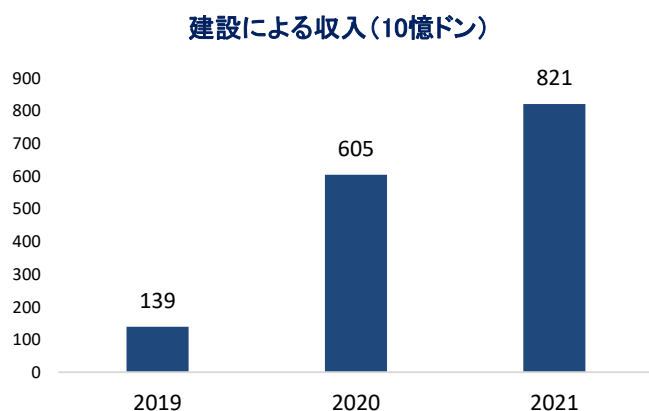
B.通信業以外の経営活動グループ: 土木事業、システムのインテグレーションソリューション事業

土木建設事業: 土木建設需要が新型コロナウイルスの流行に影響された 2 年間の後、2022 年には回復すると期待される。しかし、建材価格が上昇するのは建設業の回復に対して邪魔している。しかし、BSC は土木建設活動が成長率を維持することに対する困難に直面していると評価しております。

BSC は投入建材価格の高騰により、(1) 建設案件が赤字になる可能性がある、(2) 案件の進捗が交渉により遅くなることで、収入及び利益を計上することに影響を与えるというリスクが起こる可能性がある。

- (1) リスクについて、BSC の評価による、CTR の戦略が利益及び案件のキャッシュフローに集中すると共に、同社がキャッシュフローを良く管理していることで、CTR が赤字になる可能性が低いだろう。しかし、(2) リスクについて、BSC は投入建材価格が上昇したら、案件の進捗が遅くなると評価しております。

2022 年 5 月 27 日 – HSX: CTR



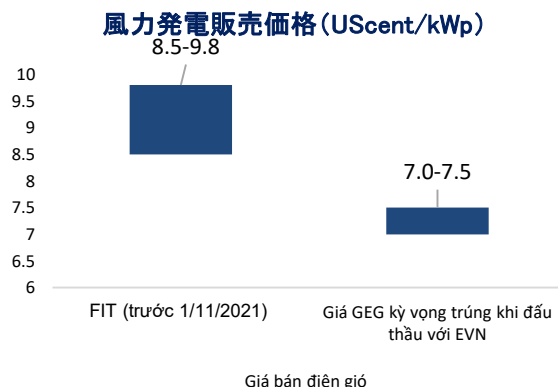
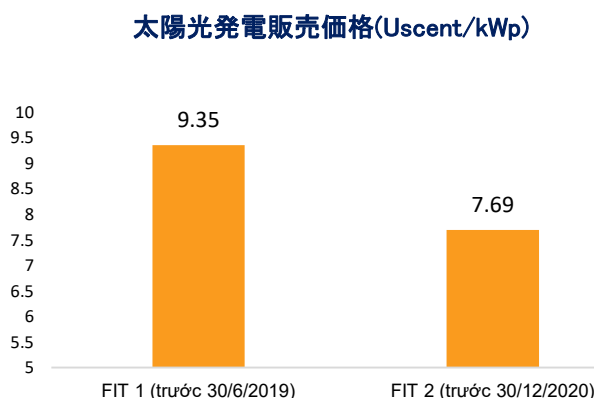
企業	2022 年第 1 四半期の落札額	2022 年経営計画
CTR	1 兆 500 億ドン (8,500 億ドン B2B, 2,000 億ドン B2C)	土木建設: 収入: 1 兆 2,300 億ドン (+50% YoY)
CTD	10 兆ドン	収入: 15 兆 100 億ドン (+165% YoY)、税引後利益: 200 億ドン (+83% YoY)
HBC	9,300*	収入: 17 兆 5,000 億ドン (+54% YoY), 税引後利益: 3,500 億ドン (+261% YoY)

ソース: CTR, BSC 総合

*:2022 年 4 月までのデータ

システムのインテグレーションソリューション事業: この事業は 2020 年には、太陽光発電案件を建設する需要が増加したことから恩恵を受けた。収入が前年比 129% 増となった。しかし、2021 年には太陽光発電及び風力発電の FIT 制度(固定価格買取制度)がまだ確定されないことで、エネルギー事業の建設需要が減少した。

BSC は 2022 年には、(1)太陽光発電及び風力発電の FIT 制度がまだ確定されない、(2)2019 年~2020 年期間における太陽光発電案件がブームになったのは送電システムに対して圧力を作ったことで、風力発電案件が遅く成長する可能性があるということを基づく、エネルギー事業の案件建設需要がまだ急増しないと評価しております。



ソース: BSC 総合

III. リスク

(1) 海外での経営活動に関するリスク

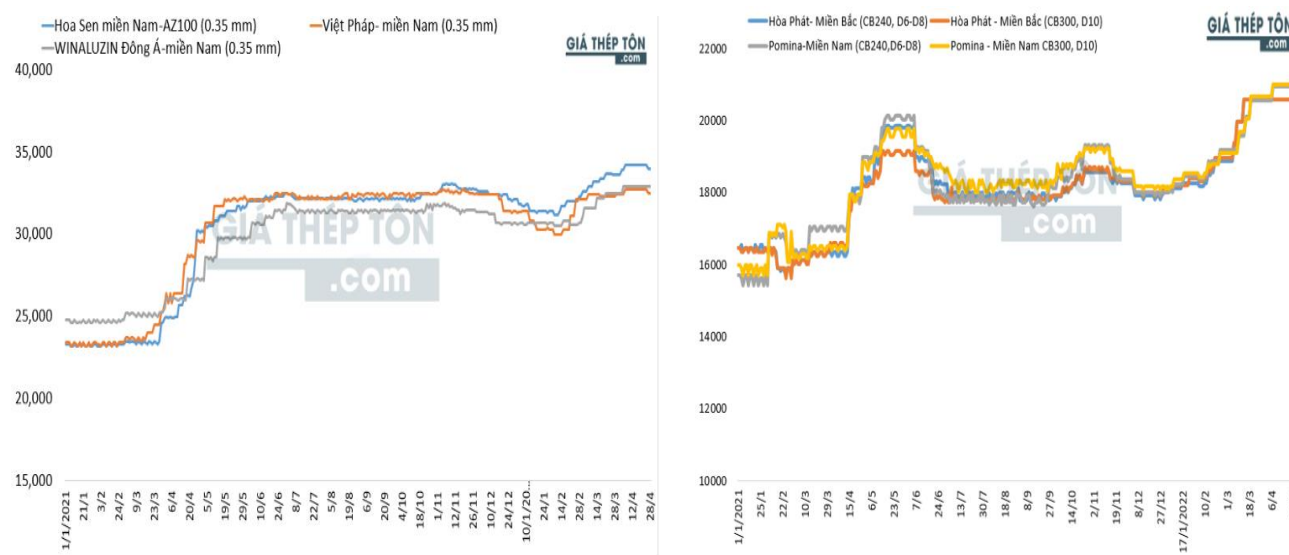
BSC は海外での経営活動(主に建設、通信インフラ)が Viettel に大きく依存していると評価しております。そのために、これらの国で政治状況また政策変更が CTR の経営活動に影響を与えるだろう。

(2) ベトナムで 5G(第 5 世代移動通信システム)の展開進捗に関するリスク

BSC は CTR の通信グループの経営事業がベトナムで 5G を展開する進捗に大きく依存すると評価しております。そのために、5G の展開が遅くなったら、CTR の経営活動に影響を与えるだろう。

(3) 建材価格の高騰に関する

2022 年には、鉄、鋼、セメント、砂などの建材価格が引き続き高い水準で維持しているのは鋼、銅、プラスチックなどの BTS 局を建設する進捗及び建設契約の実施に影響を与えるだろう。



ソース: Giathepton

IV. 予測及び評価

BSC は 2022 年には、以下の仮定を基づく、CTR の売上高を前日比+15.2%増の 8 兆 5,780 億ドン、税引後利益を同+23.2%増の 4,620 億ドンと予想しております。

-情報通信ネットワーク運用・開拓事業が引き続き成長する。収入が前年比+15.7%増の 4 兆 8,630 億ドンに達する。そのうち、国内での運用事業による収入が前年比+12%増となり、国外での運用事業による収入が同+38.5%増となる。

-インフラ賃貸事業が引き続き成長する。収入が前年比+107.9%増の 4,180 億ドンとなる。1,800 局の BTS が建設される。共用率が 1.05 に達する。

-商業契約事業が回復する。収入が前年比+13.3%増の 1 兆 2,880 億ドンに達する。

-売上総利益率は 8.4%から 8.9%に上昇する。

-販管費率は 2.2%である。

CTR の業績予測

単位: 10 億ドン	2020	2021	2022F	2023F
売上高	6,359	7,446	8,578	9,894
工事建設事業	1,606	1,898	2,000	2,365
情報通信ネットワーク運用・ 開拓・事故処理事業	3,369	4,203	4,862	5,470
商業契約事業	1,309	1,136	1,288	1,445
技術サポートサービス事業	8	6	7	8
投資不動産経営事業	65	201	419	604
売上原価	(5,884)	(6,818)	(7,818)	(8,968)
売上総利益	474	628	760	926
売上総利益率	7.5%	8.4%	8.9%	9.4%
販管費	(0)	(0)	(0)	(0)
一般管理費	(147)	(160)	(188)	(217)
販管費率	2.3%	2.2%	2.2%	2.2%
税引前利益	345	471	577	714
税引後利益	274	375	462	571
EPS	3,890	4,040	4,870	6,024

ソース: BSC Research

PE 方法: BSC は P/E 方法に基づく、CTR 株の理論株価を 1 万 8,500VND/株、PE が 1.5x と評価し、VTP の投資評価を「観察」と推奨しております。

地域におけるいくつかの企業の評価

社名	時価総額 (100 億 VND)	ROE	ROA	P/B	P/E
Centratama TeleKomunikashi	9.84	-11.8%	-4.1%	2.8	N/A
China Tower Corp	452.87	4.0%	2.3%	0.7	10.3
Digital Telecommunications	100.19	7.2%	5.7%	0.8	11.7
Tower Bersama Infrastructure	106.48	16.7%	3.9%	6.9	41.6
Indus Towers	164.05	29.7%	12.6%	2.7	9.3
Sarana Menara Nusantara	78.04	31.4%	6.8%	4.0	14.0
CTR	7.17	30.9%	10.4%	5.1	18.2
中央値				2.8	12.8

	2021	2022F	2023F
EPS	4,040	4,870	6,025
P/E 目標		18.5	18.5
合理的な価格		90,100	111,500

DCF 方法

平均資本コスト	
Rf	6%
Beta	0.7
Ke	15%
Kd	11%
E/A	50%
税金	20%

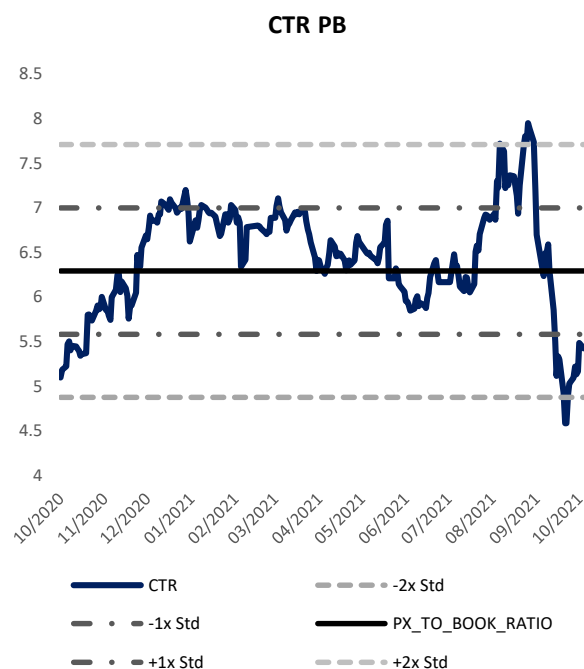
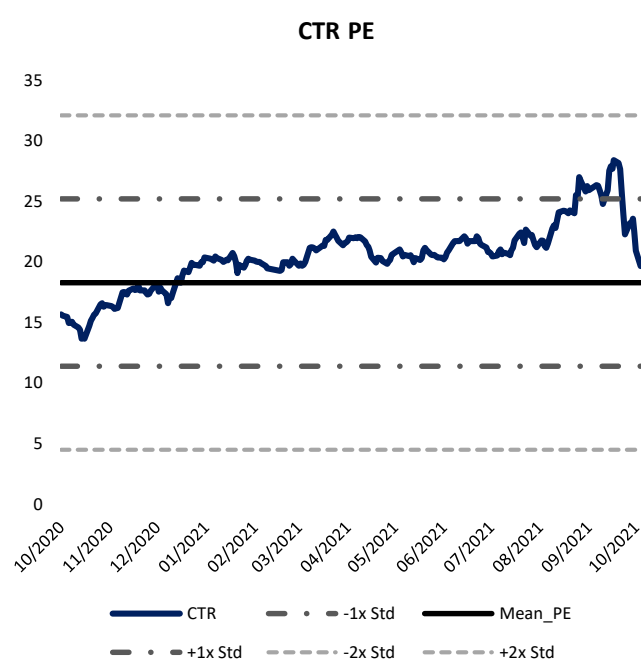
2022 年 5 月 27 日 – HSX: CTR

WACC	11.5%
g	6%

	2022F	2023F	2024F	Terminal
フリーキャッシュフロー	(23)	(12)	238	8,009
現株価	8,682			
企業価値	9,450			
負債	180			
株主資本	9,270			
流行中株数	92,925,199			
株価 (VND)	99,800			

	株価	比率	平均株価
FCFE	99,800	50%	49,900
P/E	90,100	50%	45,050
		目標価格	94,500
		現株価	77,200
		Upside	23%

BSC は PE 方法及び FCFF 方法に基づく、CTR の 2022 年理論株価を 9 万 4,500VND/株と評価し、投資評価を「買い」で維持しております。



付録

業績(10 億ドン)	2019	2020	2021	2022F
売上高	5,053	6,359	7,446	8,578
売上原価	-4,759	-5,884	-6,818	-7,818
売上総利益	293	474	627	760
販売費用	0	0	0	0
企業管理費用	-101	-147	-160	-188
営業利益／損失	212	343	472	577
金融活動収益	21	19	12	13
金融活動費用	-1	-2	-7	-7
借入費用	0	0	-6	-7
合併・関連会社関連収益	0	0	0	0
他の収益	17	1	0	0
税引前利益	229	345	471	577
法人税額	-49	-70	-97	-115
税引後利益	180	274	375	462
少数株主持分	0	0	0	0
少数株主利益等控除利益	180	274	375	462
EPS	2,980	3,892	4,038	4,875

バランスシート (10 億ドン)	2019	2020	2021	2022F
現金及び現金相当	809	504	668	645
短期投資	0	0	100	100
短期未収金	907	1,839	1,609	1,911
棚卸資産	371	670	565	656
他の流動資産	47	46	69	72
流動資産	2,136	3,060	3,012	3,386
有形固定資産	274	395	461	998
建設中非流動資産	0	183	675	102
長期投資	0	0	0	0
他の非流動資産	35	21	23	22
非流動資産	312	818	950	1,487
総資産	2,448	3,879	3,963	4,806
負債総額	1,462	2,656	2,217	2,727
短期借入	0	29	30	39
他の短期借入	104	115	241	276
短期借入総額	1,566	2,800	2,488	3,042
長期借入	0	17	149	156
他の長期借入	0	0	13	15
長期借入総額	0	17	163	172
負債総額	1,566	2,818	2,651	3,042
出資金	606	717	7929	929
株式会社化による資本剰余金	0	0	0	0
未処分利益	235	303	397	840
他の株主資本	40	40	0	0
少数株主持分	0	0	0	0
株主資本総額	881	1,060	1,311	1,764
総資本	2,448	3,879	3,963	4,806
流行中株数 (100 万)	60	71	92	92

キャッシュフロー会計(10 億ドン)	2019	2020		
税引前利益	229	345	471	577
原価償却及び割当て	43	90	155	90
流動資本変更	450	-256	-30	-85
営業活動からキャッシュフロー	680	163	588	589
固定資産購入額	-257	-487	-395	-627
投資活動からキャッシュフロー	-241	-466	-484	-627
配当金	-53	-62	-61	0
借入から金額	0	49	194	15
他の未収金	0	13	-72	0
金融活動からキャッシュフロー	-53	0	59	15
初期キャッシュフロー	423	809	504	668
中期キャッシュフロー	385	-304	164	-23
最後期キャッシュフロー	809	504	668	645

指数(%)	2019	2020		
支払能力				
流動比率	1.36	1.09	1.21	1.18
当座比率	1.10	0.84	0.96	0.93

資本構成				
負債比率/総資産	64%	73%	67%	63%
負債比率/株主資本	178%	266%	202%	172%

稼働能力				
棚卸資産回転期間	31.1	32.3	33.1	28.5
売掛金回収期間	52.6	49.0	54.5	50.2
買掛金回収期間	29.1	30.8	29.7	20.4
現金回転率	54.7	50.5	57.8	58.3

利益性				
売上総利益率	5.8%	7.5%	8.4%	8.9%
税引後利益率	3.6%	4.3%	5.0%	5.4%
ROE	21.8%	28.2%	31.6%	30.1%
ROA	7.6%	8.7%	9.6%	10.5%

評価				
PE	7.2	14.9	17.9	18.2
PB	1.3	2.8	4.7	5.1

成長率				
売上高	18.2%	25.8%	17.1%	15.2%
税引前利益	21.1%	50.3%	36.6%	22.5%
EPS	5.2%	30.6%	3.8%	19.2%

ソース: BSC Research.

利用規約

本レポートはベトナム投資開発銀行証券株式会社(BSC)の作成によるレポートで、週間内の証券市場状況及びマクロ経済に関する分析、一般情報を提供するものです。本レポートはいかなる法人または個人の要求により作成されたレポートではありません。投資家は参考資料として本レポートの分析、評価、一般情報をご利用下さい。本レポートの情報、評価、予告などは信頼的なデータ源に基づいたものです。しかし、当社は掲載される情報の正確性に対していかなる保証もなされるものではありません。情報の使用に関して、またはその使用の結果に関して、その他の事項に関して、いかなる保証も負担いたしません。本レポートに掲載される評価や観点は現時点の考慮に基づいたものです。しかし、評価や観点は予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。本レポートの著作権者はベトナム投資開発銀行証券株式会社であるので、当社の書面による事前の許可なく、いかなる形式またはいかなる手段によっても、複製、再出版は著作権法、プライバシーに関する法律に違反することになります。当社の書面による事前の許可なく、いかなる形式またはいかなる手段によっても、複製、再出版または転送することを禁じます。

BSC 本社

Tầng 10&11 Tháp BIDV
35 Hàng Vôi, Hoàn Kiếm, Hà Nội
Tel: +84439352722
Fax: +84422200669

BSC ホーチミン支店

Tầng 9 Tòa nhà 146 Nguyễn Công Trí
Quận 1, Tp.Hồ Chí Minh
Tel: +84838218885
Fax: +84838218510

<https://www.bsc.com.vn>

<https://www.facebook.com/BIDVSecurities>

Bloomberg: RESP BSCV <GO>

